5月2日 月曜日 1日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話（代表）京橋（56）8646
（直通）販売（〃）0437 広告（〃）3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話代表芝（43）1163番
東京振替貯金口座 170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第3084號 （昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日…）
（中華郵政台字第637號執照登記為第二類新聞紙…）

あすの暦 5月2日・月		
旧	閏3月11日	
月齢		9.6
日出	前	4.49
日入	後	6.27
月出	前	2.12
月入	後	1.55
満潮	前	2.05
	後	2.25
干潮	前	8.35
	後	8.45
（若潮）		

天気予報
今晩 北の風強く曇のち晴
明日 北の風晴
【全国概況】東海上沖の低気圧が発達しながら東北東に進み河北の高気圧が西日本をおおいはじめた東北南部から近畿までは雨でところどころ強く降っている

4版



傘に埋まった神宮外苑の中央メーデー会場

憲法擁護など決議
盛大に第廿六回メーデー

働く者の「団結と統一」「自由と平和」「生活と権利」の旗じるしをかかげた第廿六回メーデーは新緑の一日全国で多彩な祭典とデモ行進をくりひろげた、ちょうど日[illegible]が快晴という状況、雨のところでは一部に大会だけでデモは取りやめたところもあった、東京の中央メーデーに雨が降ったのは戦後はじめて、明治神宮外苑はコウモリ傘で埋まり、参加者はぬかるみに悩まされた

今年の参加者には総評、全労、新産別、産別、中立系など組織労働者のほか中小企業、未組織の労働者も含まれ、これまでにない幅の広い統一メーデーとなった、またこの日高野総評事務局長ら六十九名の労働代表が北京、モスクワ、ブカレストのメーデーに参加して労働者の国際的団結を実現した、

警察庁へ報告された全国の集会は午前十一時現在四四七ヵ所六十万三千人にのぼり、東京の中央メーデーには朝来の大雨をついて約九万人（警視庁推定、主催者発表は廿五万人）参加がした

神宮外苑の中央メーデーは九時四十分式典を開始、まず宮之原事務局長（日教組）が開会の辞を述べ、議長団に藤田総評議長、滝田全労議長、佐藤新産別委員長、吉田産別議長、塙全国商業労組協議会議長、重盛東京地評議長の六氏を選出した、続いて来賓の左社鈴木委員長、右社河上委員長、労農党黒田主席、共産党春日中央指導部長、日農代表上林代議士（左社）、護憲連合代表委員有田八郎、企業代表国井周作の各氏がそれぞれ祝辞を述べた

メッセージは国内の各団体のほかこのように外国の労組からよせられたが、高野総評事務局長ら外遊代表からの電報が披露されたのち、議事はまず「労働者の団結、自由と平和、生活と権利を守る」などのスローガンを提案（柴谷公労議長）続いて「平和憲法擁護および原水爆反対」「生活と権利を守る」「労働戦線の団結強化と社会党合同促進」の決議案をそれぞれ承認、ついで「労働戦線を強化し社会主義政権の樹立を図り自由と平和、民主主義擁護のため労働者は堅く団結し世界の労働者と手をつなごう」という趣旨のメーデー宣言を発した、演壇の二つのクス玉が割れ平和の鳩が雨をついて一斉に飛びたち同時に十数発の花火が打上げられた、続いて全員がメーデー歌とインターを合唱、万歳を三唱して式典を終り、予定をくり上げ十時卅五分、雨中のデモ行進に移った

デモは五方面に分れ、中部は新橋、東部は靖国神社、西部は渋谷、南部は芝公園、北部は新宿駅と、それぞれのコースに向ったが、各コースとも雨をついて労働歌をたからかに響かせて明るく楽しい祭典をくりひろげた、午後四時すぎ解散した



東京と台北で乾杯
中日貿易協定を祝い

台北 中日貿易協定の改訂交渉は順調に進み去る廿七日[illegible]外交部長と芳沢駐華日本大使との間で正式に調印が行[illegible]

【写真上調印を終えて乾杯する葉外交部長と芳沢大使】

東京 中日貿易協定の正式調印にあたり国府駐日[illegible]定の成立と中日両国の経済発展を祝って廿七日午後[illegible]区の大使官邸で祝賀会を開いた、日本側から石橋通[illegible]次官、湯川外務省経済局長、新木日本銀行総裁、井[illegible]見東京銀行頭取、石川経済団体連合会々長、伊藤[illegible]坂芝浦電気社長、藤山日本製糖社長、道面味の素社[illegible]・ビール社長、柴田ニッポン・ビール社長、堀日本勧[illegible]界、財界の代表者、中国側から董大使、楊、張両公[illegible]事、蔡長庚台湾同郷会々長、周崇奇日本華商貿易公[illegible]局、招商局、中国銀行、台湾航運公司の各関係者約[illegible]董大使の「中日貿易協定の調印を祝し、今後の中日[illegible]一層強化されることを期待する」との挨拶があってカクテル・パーティに移り、同七時ごろ閉会した



【写真下握手する董顕光大使(左)と石橋通産相】

化学工業界新年度の景氣展望
多角経営ねらう硫安
石油化学工業、スタートへ

化学 工業の景気見通しを問えば口を合わせたように「地味な産業だからこれという目立った動きはないだろう」という、実際に化学工業の母体ともいわれる肥料そのものが農村を相手にほとんど固定した需要をもつものだけにハデな動きは望めない、しかし肥料以外のソーダ、火薬、染料などはここ二、三年、一般にかなり苦しい思いをしてきており、一方では新興の有機合成化学によるプラスチック工業がようやく根を張ってくるなど地味ながらも新陳代謝の気は満ちてきた

石油化学工業が卅年度に初めて芽をふく見込みも出てきたが、まず中心となる化学肥料から本年度の景気展望をしてみよう

化学肥料では何といっても硫安だが、硫安は肥料二法にしばられている上、例の値下げ騒動以来いささか萎縮した感じで、ここのところ鳴かず飛ばず、業者は「悪い見通しばかりだ」とすでに弱気をみせている、需給面からみれば硫安系肥料（尿素、塩安、硝安などアンモニア系肥料を含む）には大した問題はない、八月からの卅肥料年度の需給計画については五月末ごろから肥料審議会が検討を始める予定だが、輸出がきわめて活発になったほかは内需はすでにほとんど頭打ちの形なので、やや増産の声が出るくらいとみられる

増産 については、さきの値上げの時に問題になったように、業界がこれまでの設備合理化によるコスト切下げを、増産によるコスト切下げという、より手っ取り早い方向に進めようとしているので需給計画作成の上では最大の問題になるだろう、中でも尿素の好調に目を付けて、これまでの東洋高圧、日産化学、住友化学、日東化学四社のほか昭和電工、三菱化成の二社が卅年度内に加わるので、いささか乱立[illegible]れもでてきたほどである、硫[illegible]えて三百四十万トン前後にふえ[illegible]込みで、業界の計画によれば[illegible]年度には三百七十八万トンの能[illegible]ふえることになる

ところが最近は業界の一部[illegible]これだけ能力がふえても果[illegible]その分を予定通り輸出でき[illegible]どうかを疑い、もう少し内[illegible]みようとする考えもでてい[illegible]このため五ヵ年計画を練直[illegible]るを得なくなっている。こ[illegible]は開発銀行の融資がきわめ[illegible]円滑なことも理由になって[illegible]が、ともかく業界がとみに[illegible]的になってきたことは[illegible]まい

硫安 業者のうちにはも[illegible]安の生産をやめよ[illegible]いうほど望みを失った振りをす[illegible]硫安ならアンモニア、石灰窒素な[illegible]

[illegible]うな計画は三菱石油、日本石油精製、丸善石油三社と三井化学グループ（興亜石油、三池合成、東洋高圧が協力）で、通産省もこのうちどれかは卅年度中に着工するとみている

議論 の多かった石油化学も一応廃ガス利用と原油分解の二本立でスタートするわけだが、まだ多くの問題を残している、たとえばポリエチレンは三井化学グループのほか住友化学が英ICIと提携して加わる計画もあり、新製品だけに需要がこれに追付くかどうか判らない、またアセトン、ブタノールなどはこれまで醗酵法で生産していた協和醗酵、三楽酒造などの六手がみすみす手を引くほかなくなると猛反対している

巨額の資金が要るのと、需要の見通しがつかないのが石油化学のスタートの遅れた理由なのだが、どうやら陽の目をみる時期がきたようだ

肥料会社の多角経営と石油化学は卅年度で最も注目すべきものだろうが、悩みはいずこも資金不足である、硫安工業合理化にしても大部分の計画が開銀融資の実現可否をにぎられた形で、業界では「国家資金もくれず、価格を抑えられてはいい見通しはない、配当も本年度あたりから徐々に落さなければなるまい」という、三井系がグループで石油化学をやろうとしたのも資金面での必要からで、これに対抗する三菱系の結束も十分予想される

硫安十四社にしても各系列は次第にハッキリしており、ことに三菱化成、東北肥料、日本カーバイドなどの三菱系が相寄りつつある、そういう点からも化学工業にとって本年度はあながち「いつもながら目立った動きはない」とはいい切れぬものがあろう



去る24日来台に際し台北飛行場で歓迎の国府軍精鋭を閲兵のラドフォード統合参謀本部議長（左端）とロバートソン国務次官補（左から四人目）

台湾に基地建設
米で考慮

【台北廿九日発AP=共同】米国は台湾を中共のいかなる攻撃に対しても防衛するという米華相互防衛条約上の保障に従って台湾に米軍基地を建設することを考慮中である、実際上の措置についての今後の決定は台湾を訪問したロバートソン国務次官補、ラドフォード統合参謀本部議長が帰米後におこなわれる予定になっている

撤退要求されず
金門・馬祖 葉外相が言明

【台北廿八日発UP=共同】葉公超国府外交部長は廿八日立法院で「最近来台したラドフォード米統合参謀本部議長とロバートソン国務次官補は国府軍の金門、馬祖両島撤退を要求しなかった」と言明、さらに「ラドフォード議長とロバートソン国務次官補は米国は国府の利益を害することはしないとの確約を与えた」と語った

中国本土を猛攻 国府海軍

【台北廿九日発AP=共同】国府海軍司令部は廿九日「国府軍艦は廿八日馬祖島に近い中国本土を砲撃、相当数の砲兵陣地を破壊した」と発表した

台湾同郷会理監事会

留日東京台湾同郷会では廿八日午後五時から同会事務所で定例理・監事会を開き、蔡会長から「事業部新設に関する件」を提案、満場一致でこれを可決、事業部長に陳栄生氏を任命することを承認した、出席者次の通り

蔡長庚会長、劉天禄副会長、蔡福江文化部長、黄遠竹会計部長、黄木邑渉外部長、陳栄生、陳定城、馬錦燦、黄炎生、杜清、柯宮各理監事

[redacted]

ICA局長にホリスター氏

【ワシントン卅日発UP=共同】ホワイト・ハウスの新聞係秘書ハガティ氏は卅日「アイゼンハワー大統領は対外活動本部（FOA）の廃止にともなって国務省の下に新設される国際協力局（ICA）の初代局長にジョン・ホリスター氏を指名するだろう」と発表した

中共艦艇 六隻を撃沈破
国府空軍金門島南方で

【台北卅日発UP=共同】国府空軍は卅日「国府空軍は金門島南方で中共海軍の四百トン砲艦二隻と、武装ジャンク八隻を発見、砲艦二隻を撃破しジャンク四隻を撃沈（不確実）した」と発表した

商品週況 ＝30日＝

砂糖 上白は今までメーカーの足並みが揃っていることが大きな支えになっていただけに、メーカー十七社への公正取引委員会の警告を嫌気し、しかも前週よりやゝよくなったとはいうものの、現[illegible]はいうものの、あと一、二十銭[illegible]放れて八十銭安の[illegible]円廿銭方低落、先[illegible]失望投げ散発して[illegible]荷回り見越から人[illegible]、月末接近のため[illegible]六月物は二月下旬[illegible]十九円卅銭出来、[illegible]ニューの一部で各[illegible]品（市中標準品・斤[illegible]）△上白八〇・[illegible]△中[illegible]△グラニュー八[illegible]△四月一△五月八[illegible]六月七九・三[illegible]

皮革製品 袋物は化粧セッ[illegible]下品が出て人気呼[illegible]チャック付中ベラ[illegible]の高値で十五円[illegible]安、山羊革の高値で十円、安値で廿円安、ほか保合（御・一個・単位円）

◇ハンドバッグ △牛革（提げ）五九〇—二、〇〇〇△同（抱え）五八〇—二、七〇〇△ビニール（口金付）一八〇—一、五〇〇△同（チャック付、九ｲﾝ）六〇—三〇〇△同（同、十ｲﾝ）七〇—四〇〇△同（バケツ型）一六五—四五〇△同（子供用）五五—二五〇△さらさ（抱え、チャック付、九ｲﾝ）三八〇—四〇〇△同（口金付）八五〇

◇化粧セット（一六ｲﾝ）△馬革四五〇—八〇〇△牛革五五〇—一、四〇〇△山羊革四五〇—八〇〇△ビニール二六〇—四〇〇

◇チャック付 中ベラ付札入（二寸八分—三寸二分）△牛革一三〇—三八〇△馬革一一〇—二三〇△山羊革一〇五—二一〇△ビニール四二—一一〇

◇札入（天狗付、三寸八分）△牛革二三〇—八〇〇△豚革（ぎん）八〇—一三〇△ビニール（天狗付）三一—一〇〇

◇チャック袋 △ビニール（五ｲﾝ）二三—五五△同（六ｲﾝ）三三—七五△同（七ｲﾝ）四一—一二〇△ビロード（正絹、五ｲﾝ）七三—一八五△同（同、七ｲﾝ）一一五—三三五△同（人絹、五ｲﾝ）五三△同（同、七ｲﾝ）七〇

◇買物かばん（一尺、口金付）△牛革一、五〇〇—二、五〇〇△豚革六〇〇—一、〇〇〇△ビニール三八〇—七五〇

◇ショッピング・バッグ △ビニール六八—三〇〇

吉田丹司選

縁日のこと鼠へすぐと知れ 新宿 齋藤 耕月
演説のなれた時分に投票日 北 蒔田 棚峯
鮎解禁釣竿かついで貰ってくる 中野 高野藝太郎
天皇蒙聞楼じゃないヘボ将棋 江戸川 五 迷亭
違反せば叱られせねば落選し 新潟 村山 政男
石田の冷めたさを知る娼婦の背 豊島 素町人
代書屋の喉にもそっとコッペパン 長野 磯川 兵助

内外抄

あいにくの雨で今年は「明るく楽しい」のが静かなメーデーとなる。日共保証のおかげもあってね。

◇

保守と無所属が圧倒的で地方選挙の幕閉ず。つまり地方は保守的で政党はお嫌いということ。

◇

南ヴェトナムにクーデター。腐った「バオダイ樹」が倒れて新しい若木がはえる。時代はうつる。

◇

きょうから子供を守る運動が始まる。「悪書の追放」やら「覚醒剤の防止」やら忙がしいことだ。

◇

カンヌ映画祭で永田大映氏のラッパが映画にまで祟るとは。やはり仏映画界はオカシイ。

浅草の鬼 (156)
浜本浩
栗林正幸画

八重櫻（八）

「どなた？」

武士は、轡の音に眼を醒ますと、いう、腸に疵持つマンボの新子は、ぱッちりと眼をあけた。

とたんに新子は、扉の外に佇む黒眼鏡の姿を連想した。否、安斎部長かも知れぬ。

が、聞き馴れぬ声が、それに応えた。

「劇場から参りましたが、旗野先生は、おめざめですか？」

日本人ばなれの怪しいアクセントである。

「旗野先生ですッて？ ほゝゝほ」

新子は、幾日ぶりで屈託なく笑い、梧郎の耳に口をつけて連呼した。

「旗野先生、旗野先生」

「止してくれ」

梧郎は、わずらわしげに寝返りを打つ。

「お客様よ。劇場から呼びに来たわよ」

「劇場から？」

梧郎は、寺島の大衆劇場から、誰か来たのだと思って、寝台から飛び降り、いきなり扉を引きあけた。が、客は思いがけなく、六区劇場の演出係ロバート・花見であった。

「何ですか？」

梧郎は、つっけんどんにきいた。

「うちの劇場へ戻ってくれませんか」

洒落れたネクタイに、模様編みのカーディガンを着用したロバートは、白い頬に微笑を湛めて、はにかんだ。

「だしぬけに、どうしたんです？」

「実はですね——」

放水路の殺人事件が新聞に発表されると、とたんに客足が、がたりと停った。殺人犯人に関係のある劇場を嫌ったからだ。挽回策としては、問題の踊子冬木梅子を舞台に登場さすよりほかに途がないという。



「そこで、わたくし、ウメコさんのアパートに行きました。夏川さんにも出てくれと頼みました。しかし、梅子さんも夏川さんも、旗野先生とでなければ、出ることできないと云います。いろいろ、不愉快なことも、ありましょうが、ラセはもう居りませんから、帰ってください」

「それはあなたの、考えですか？」

「社長も同じ考えです。ぜひ、お願いせよといゝました」

「なるほど」

梧郎は、がくりと頷いて云った。

「せっかくですが、ぼくはタンカラ芝居を抜けるわけにはいきません。御存じでしょうが、羅生に殺された貫一のお母アさんにも義理があります。アメリカ育ちのロバートさんには、解らないでしょうが、ぼく達は、義理人情に生きているのですから」

「ワタクシも日本人です。あなたの仰有ること、よく解ります。それでは無理も云えませんから、昼間だけ応援してください。シタマチの芝居は、夜間だけでしょう」

「それよりもねえ、ロバートさん」

梧郎は、押し返えすように説いた。

「この際、河野先生に帰っていただきなさいよ。そして劇場の経営を先生におまかせすることですね。そうすれば、夏川さんも、梅子さんも、喜んで舞台へ戻るでしょう。ぼくも寺島の興行が終ったら、出してもらいますよ。社長に勧めてごらんなさい」

「だめです」

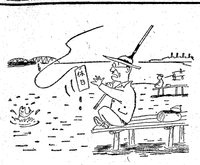
ロバート・花見は、頭を振った。

「なぜ？」

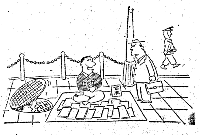
「河野先生を、原田に斬らしたのは、社長だということになっているのです。その事を解決しなければ、頼みに行けませんでしょう」

容疑者羅生門の運命も、河野事件の真相も、すべて問題の解決は黒眼鏡の証言にかゝっているのである。

新人まんが

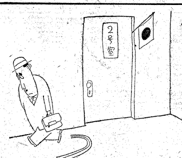


連休　白吉辰三

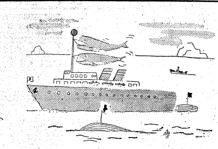


悪書追放以來　岩田東風

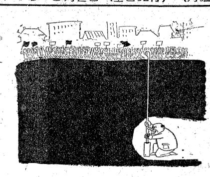
『旦那ッ!い丶本がありますぜ』



今日はハタ日　安楽博光



南氷洋の子供日　江沢ユージロー



メーデー　望月一虎

『おゝ!頼もしきかな同志よ!』

投稿歓迎　スミ書き　構想自由　なるべく時事を織込んだもの　本社編集局「マンガ係」宛　裏面に住所氏名及び匿名を明記のこと　採用の分には薄謝を差上げます

悪徳援助 交友社の内幕

既報のとおり「交際、援助斡旋」の新聞広告で男女会員を集め、売春斡旋で手数料をしこたま取ってほくそ笑んでいた男が去る廿六日杉並署に検挙された、警視庁ではこの種の結婚相談所は現在都内だけでも八十軒ほどあるといっているが、一体ここに集る女性会員達はどんな女なのか、またどんな気持で会員になったのか、検挙された結婚相談所「交友社」=新宿区角筈二の四〇社長大森邦弘(三五)=の場合を杉並署の調書から拾ってみよう



手入れをくった売春取引所と社長大森邦弘

情婦ら十数名と関係 強か者の不良社長

女はみな偽名で二万円をピンハネ

難避し調査 舌を巻いた巧妙さ

○…まず交友社の組織をみてみると、開業は昨年十一月で社長の大森は廿七年早大法学部を卒業後素行が悪く代々木新町の某鋼材会社、日本橋某工業会社などを転々一昨年夏ごろ少女(一六)を情婦にしたのを手始めに学生、女中、未亡人など十数名と関係、昨年春某女の友人と喧嘩して傷害容疑で逮捕されたこともあるという強か者、職に困って、流行の援助斡旋業を思い立ち、自分で他の斡旋所の会員になってその方法を研究し、法律に明るいところからさらに改良を加えたというだけに、その巧妙さは「実によく出来ている」と調べの係官も舌をまくほどだった

○…新聞広告で集った男女会員から先ず契約金と称する入会金を二百円ずつ取る、この際会員カードに必要な記載事項を記入するわけだが、男の方は収入、家庭の状況まで細く記入させるのに反し、女の方は姓名、年令だけ、というのは偽名を使えるということで女のしゅう恥心を除きまた警察からカードを没収されたとき、女の住所が判らなければ調べが出来ないという一石二鳥を狙ったもので、このため会員も他の同業者より多く、また調べの警察官を手こずらせたことも事実、女の名前は殆んど偽名で、ようやく女の家をつきとめたら、カードの女は七歳の子供だったり、本人の隣家の娘の名前を借用していたりでとんでもないヌレ衣を着た娘さんもいた



○…こんな調子だから女会員との連絡は女が自ら事務所に出向いてきてとるという方法で、女の希望で見合の日取を男会員に連絡、事務所で見合をさせる、このとき紹介料として両方から八百円ずつとり、成立すればさらに千五百円ずつとるから一組成立毎に五千円ころげ込むわけ、援助の場合は一ヵ月一万五、六千円が相場で、月三、四回の逢瀬というから男会員三、四人は相手に出来る勘定、そこで女にすすめてさらに男を紹介するという方法で、一人の女会員から二万円位は儲けていた「俺だけの女」と思っていた男会員はいい面の皮だったわけ、会員は現在女卅七人に対し男八十九人という比率、開店以来約五百人から百万円も稼いでいた

小遣い稼ぎと興味から…… 多い服装、美容校生

寂しさに耐えかねた女社長も

○…警察に没収された会員カードによると女会員は場所柄、近くのY服装学院やY美容学校の生徒が多く、月謝稼ぎばかりでなく、卒業後の開店費用を稼ぐためというのが多い

▽Y美容学校生徒山田美恵子(三三)=仮名=は元陸軍中将の娘で、小金を持っているが、卒業を控えて開店費用が四、五万円足りないというので援助会員になり、中央区越前堀某会社社長(四六)から一万八千円の援助を受けていた

▽舞踊師林年子(三四)=仮名=中野区昭和通り三=は元女優、日本舞踊でお座敷稼ぎをしているが、派手好みで、小遣いを稼ぐためと興味からだという、相手はW大の学生(三六)という男、会員中の変りダネで月三、四回杉並区高井戸の学生の下宿で会い、月一万六千円の援助をうけていたほか、二人の男を相手にしていた

○…会員中の異色型は、新宿区で美容院と洋裁店を経営する未亡人の女社長(四〇)で、その財産は一千万円といわれるが「お金が欲しいのではない、こちらから出してもいい、女の子ばかり使っているので男気がなくて寂しいものですから」と、文京区駒込曙町の会社社長、南多摩郡の洋品店主など二人と交際を結んでいた、勿論援助の方はもらってもよく、もらわなくてもよしというところ

○…前記卅八人の女会員のほか卅人いたが、これは家の手伝いをしていたり、勤め先が女ばかりの働き場所だったりして、男性との交際に恵まれないで「男のひととおつき合いしたいワ」という女達ところが交際だけという条件を満してくれる男会員はごくまれで、結局二千 五百円がとこ 取られっ放しということになったという、杉並署ではこのほか「一回だけ」というプロ専属会員が十人ほどいるとみているが、今度の手入れではその証拠はつかめなかった

今後どしどし検挙

○…また警視庁保安課山川警部は「他の斡旋所は、その方法が交友社の場合と多少異っているようだが、やはり大同小異で、これを手始めに悪質なものはどしどし検挙する」といっている

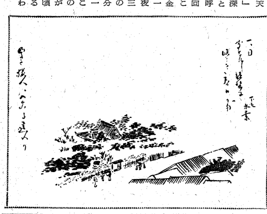
書線今昔 —その4— 一ツ目

畳を叩く風流な娼家 ひやかしは相手にせぬ格式 深川名物、呼出し女

○…江東区本所千歳町一丁目三番地に杉山神社というのがある、江ノ島の弁天を勧請したので、ここの旧名を一ツ目※

※といったので、一ツ目の弁天の方が通り名になっている、古くは清水七兵衛という役人が幕府から貰っていたので七兵衛屋敷と呼んでいた、元禄といった年代に杉山検校が将軍を治療してその礼に「何か欲しいものがあれば与えるぞ」といったので「せめて一ツでも良いです、目がほしいです」というと「それは将軍の威勢でも出来かねる、しかし将軍が嘘をついたといわれもしまい、本所の一ツ目に屋敷を与えるぞ」というわけである今の神社の一帯が、総録屋敷といわれた所である

○…この土地は岡場所としては格が良く、ひやかしの客なんどは相手にしなかった、それだけに質が良かった、天保以後の本には、娼家は五軒、家の作りは狭くして風流にて娼家に似ずと書いてあるので、粋な家が並んでいたものと見える、それに一ツ目橋の西詰に水戸藩の武士の集会所があったので、三味線の音も、手を打って女中を呼ぶことさえも禁じられていたので客が二階にいると、畳を叩いたものであった、古川柳に「弁天の客は拳に畳たこ」とある、ここには深川名物の呼び出しという女性がいた、呼出しのあったのは回向院前、音羽とここだけだった、揚代金は一両一分(今の一円廿五銭)昼三ツ、夜二ツとある、二ツ三ツといっても"あの方"の数ではない、昼夜を五等分にわけて、一切れの遊び金高が一分で、五切で一両一分となる、この遊びを詠んだ川柳に「一ツ目の化物客を切って食い」というのがある、天保頃の句である、宝永頃の文献にも載っている土地であるから、相当古い場所である事がわかる(尾)



モダン歳々記

聖武天皇崩御

天平勝宝八年五月二日、聖武天皇は五十六歳で崩ぜられた。自ら三宝の奴と称し、仏教に帰依すること深く、諸国に国分寺を建て、その総元締に奈良の東大寺を建立、大仏を鋳た業績は天平文化として今も千年の余香を残しているが、僧玄昉を信じ、玄昉と光明皇后の秘密を知っていながら「あれは菩薩と法悦に入っているのじゃ」などとすましていたなどは、どうかと思うようなことでもある。

細君の浮気には寛大だったが、諸国の国分寺と国分尼寺はその場所をちゃんと隔離させ、男僧と尼僧の接触を厳として戒められたらしい。特権階級と平民では色事にも当然差別があるというのかも知れぬ。この寛大なる夫の娘として、史上類い稀な孝謙天皇が生れた訳である。天平の豊麗な文化には、尊いものと美しいものが、官能と精神を融合させて表されていたようである。聖武帝の妃光明皇后を写したと伝える半裸の法華寺十一面観音像に溢れたエロチシズムが天平の真の姿なのであろう。遠く西域との交通まで開いていたこの時代の好色美術が全く失われてしまっているのは惜しいことである。(鮭)

あすの運勢 =五月二日=　高島象山

▲一月生—明るい希望に満ちて進展あり新規は宜しからず旧事に吉
▲二月生—小心翼々たる態度を捨て堂々と技両を発揮して成功あり
▲三月生—初め都合よく運み稼業繁昌あるも他動的の事は仕損じ有
▲四月生—何事も順調で幸運際大に至るも目下の事で少し心配あり
▲五月生—心機一轉して吉運に入り目的願望次第と達成に向うなり
▲六月生—外に振わい内に不愉快にして不満あり婦人は閨情に悩む
▲七月生—最善を盡して結果を急がず静かに努力すれば目的叶う也
▲八月生—自由自在の気運あり積極的に活動せよ開業昻作移轉大吉
▲九月生—傷心の行爲が禍いして遂に失態を生ずる社交的には不利
▲十月生—依然として順調に進み思いが叶い商売繁昌あり移轉よし
▲十一月生—漸く安心の境地に入り順調に利益あり上位の引立あり
▲十二月生—多角的の者は彼れよ是れよと気迷い失望を招来する也

風流世界譚 ……(アメリカ)……

オハイオ州の風光明媚なソーリー湖に面した女子神学校は宏壮な建物で、毎日敬虔な祈りのもとに教育が施されておりますが、神聖なこの学園にも時代の風は吹き込まずにはおきません。うら若い処女たちはみんな映画ファンで、暇さえあれば、「青い 麦」だ とか、「高校三年生」だとか、性に目覚めた頃の映画について話合っては喜んでおります。ある時、それを耳にした舎監のデルリ女史が、いきなり室の中へ入って来ました。「皆さん、あなた方は『青い麦』の話をするよりは、イエスのいい給うた『一粒の麦もし死なずば』の聖句の研究でもすることですよ」「はい、判りました」女史が出て行きますと、それを見送った生意気盛りのメリーが「あの先生は、青い麦が気に入らないのは当り前だわ。ご自分が黒い 麦で すもの」「あら、それじゃ、メリーは赤いの」「おやどうして?」「だって、あんたはさっき、月一回のものになったといったじゃないの」

ラジオとテレビー　1日(日)

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 先週の国会から 清瀬一郎 水田三喜男 伊藤好道 三輪寿荘ほか	00 音楽の栞 独唱 樋本栄 ジプシーの歌ほか 30 座談会「最近の映画」	05 これからの株式市場 15 民謡お国自慢 〆香他 30 カナリヤ・ゲーム	00 三つのスリル(杉本) 30 スポーツ・ニユース 35 よい子の新聞(松本)	00 演芸ゴー・ストツプ 30 劇「風雲黒潮丸」久松保夫 永井百合子ほか
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 今週の明星 笠置シヅ子 小畑実 菅原ツヅ子	00 二つのコンボによるジヤズ合戦 南里文雄ほか 30 録音構成「みんなに好かれる男」鴻巣町にて	10 録音ニュース 20 ❶漫才「小鳥と赤ん坊」ネオン・サイン❷落語「鰻のたいこ」桂文楽	00 録音ニユース 10 歌の誘い タイムほか 30 東京キユーバンボーイズ「グエンパ」ほか	00 ラジオ夕刊 20 花のステージ伊藤露美 30 レビユー「廣美人」春日野八千代 神代錦ほか
8	00 ❶物真似 木下華声❷落語「日和違い」右女助 30 なんでも入門「玩具屋の巻」森繁久彌ほか	05 音楽の窓「チエロをめぐつて」今日出海ほか 30 児童福祉週間に想う 杉靖三郎 高木純一ほか	00 劇「困つた連中」榎本健一 森雅之 小沢栄他 30 劇「花嫁はどこにいる」佐田啓二 中村メイコ他	00 三つの関所 司会・今泉良夫 田中明夫ほか 30 アチヤコ自叙伝 長井愛子 朝雲照代ほか	00 素人ラジオ演芸会 岩田富代造 豊文 東海 40 僕等が歌を唱い終つたとき 河井坊茶ほか
9	05 ニュース解説安斎義美 15 私は誰でしょう 二元収録 司会・新藤アナ 40 第26回メーデー	00 邦楽鑑賞会—邦楽武者絵巻—❶常磐津「戻橋」千東勢太夫ほか❷長唄「綱館」芳村五郎治ほか	10 浪曲名人席「喧嘩街道」東家浦太郎 40 街録・男性対女性「日本式がよいか洋式か」	00 歌謡ゲーム 司会・大久保怜 森繁久彌ほか 30 チエミと歌えば 司会 木村令子 原信夫楽団	00 ❶漫才 蝶々・雄二❷落語「音楽会」林家三平 30 浪曲名人会「新佐渡情話」寿々木米若
10	15 物語「富士に立つ影」語り手 徳川夢声 45 新聞をよんで ドアー	00 スポーツダイジエスト 30 引揚者の時間 第三次ソ連帰国者にきく	05 きようのニユースから 15 劇「ママ姉さん」山形勲 45 コーラルジヤズクラブ	00 幾何 清宮俊雄 30 日本史 田名網宏	00 歌の明星 中村メイコ 春日八郎 青木はるみ 35 スポーツ・カレンダー
11	10 夢のハーモニー 20 五月の美 川田順	00 裏から見たA・A会議 20 医学の時間 中原正徳	10 北から南から・録音構成「メーデー・ルポ」	00 ちえを奪われた人々 30 プーランク作曲朝奏楽	00 名士小唄会 林癡浩他 20 海外の話題

テレビ

★NHKテレビ★ ◆6・00 バラエティ「二羽の小鳩」七条げんじほか◆6・30 マリオネット「テレビてん助漫遊記」◆7・10 家庭かるた 市村・楠◆7・30 映画「めし」監督・成瀬巳喜男 上原謙 原節子 島崎雪子ほか

★日本テレビ★ ◆6・00 三味線道中◆6・20 映画スター東西対抗野球◆7・30 引続き野球【中止の場合】◎6・20 探訪「鯉のぼり」◎6・30 映画「ジヤングルの死闘」◎7・30 映画「モスクワのサーカース」

★KRテレビ★ ◆6・00 童話劇「幸福な王子」角田 秀雄ほか◆6・20 短編 映画◆7・00 コメディ「愉快な家族」羽鳥敏子ほか◆7・30 映画「若人の歌」池部良 伊豆肇 千秋実ほか◆9・00 テレニユース

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 原久一郎 海音寺潮五郎 8・05 名演奏家の時間 8・45 歌のおばさん 松田 10・05 けさの話題 繁田 11・15 朗読「せみと蓮の花」	8・00 療養相談 深津要 8・30 大作曲家の時間 9・15 ラジオ音楽国語教室 10・30 マイクの旅太宰久雄 10・45 科学と生活木本誠二 11・15 世界民謡の旅	8・20 ラジオ・スケツチ 9・45 我が家のひととき 10・10 名作「良人の貞操」 11・35 音楽のスーツケース 12・30 新良晋一郎と楽団 1・30 現代の足音「女学者」	8・25 劇「青春のある所」 9・30 物語「釈迦と弟子達」 10・40 劇「君ひとすじに」 11・35 連続劇「東京の人」 1・15 ラジオ寄席◇歌謡曲 2・30 長唄「あやめ浴衣」	8・10 お早ようプーちゃん 8・45 お好み歌謡曲 9・00 劇「サザエさん」 10・00 やりくりチヨ子さん 11・00 連続劇「信子」 11・35 朗読「浮雲」高橋博

浪人街道 (144)

木村荘十　野口昂明画

◇あらすじ◇▼神田駿河台に邸を持つ旗本逢春啓之助は芝山内に起つた不思議な殺人事件にまき込まれて旗本から追放され浪人になつた。それで事が済んだかと思うとそうでなく、啓之助を狙う影のような悪鬼が絶えず彼の身辺をうかがつている。どうやら彼の素性と或る大藩をめぐつて大きな陰謀がなされているらしい▼啓之助を助けているのが、男装の美女綾という女性とその手下で佐吉という目明し、それと一目惚れした深川芸者の美代吉である。美代吉は綾との戀の遂引から粋人大和屋文魚に頼んで、啓之助を襲う悪鬼の正体を摑んで貰つたが、その為に彼女は単身敵地へ乗込まねばならぬ破目になつた。或る夜啓之助は文魚に誘われて吉原へ行つたが、その帰途またも暗殺団に襲われ、危いところを佐吉に助けられた。

地の声(九)

「吉原はよくお出かけで?」

「どう致しまして」

佐吉は不安そうに、そんなことをいう啓之助に、

「あっしどもにはお政治向きのことは一向わかりませんが、世の中には、仰言る通り、合点のいかねェことが多いようで、そんなお気持も する でしょうが、一つ御自重を願って…あっしがお迎えにいくか、使いを出すまでは、どうか鍛冶町の家から何処へもお出かけに なら ねェように…」

「分った。独りで斬り込むようなことはしないつもりだ」

「じゃア、お気をつけなすって」

佐吉は、何処へいくのか、二人と別れて忙しそうに姿を消した。

啓之助は、さっきまで敵だった浪人者と一緒に、ぶらぶら浅草の方へ歩いていった。二人の横を、吉原通いの辻駕籠が威勢よく飛んでいく。

「なかなか吉原というところは、大したもんですな。あすこへ来る客は、誰も彼も、これが生涯をかけた目的みたいな顔をしていますからなァ」

啓之助は、大きく首を振った。

「今夜が初めてです。ああいうのを見ては、町人百姓が難渋しているなどと聞かされても、地方を回って見なければ、直ぐにはそうかと信じられませんな」

「なにしろ、百姓町人の理想というのが、紀文だの奈良茂だの、大和屋などの豪遊を見たり聞いたり同じ男と生れた甲斐には、一度でも、あんな美しいおいらんをあげて、豪遊して見たいなどというのですからな」

「なるほどね。全く廓は華やかだし、女共も美しいが……どうも男子の一生を托するには……さて、どんなものでしょうかな」

「われわれは、それも見たことではなく噂や、絵草紙の知識に過ぎませぬが、そういう風潮も町人ばかりではなく、随分身分の高い武士階級にも及んでいるらしく、吉原のおいらん大菱屋の綾衣と心中した藤枝というのは、四千五百石の旗本だそうですし……」

「なに旗本が?」

「はァ、紀文と云えばこの吉原の大門を二日 も打った 豪遊で、先ず、彼の意に叶わぬことは無いと云われておりますが、この大門を打たせたのも、江戸町二丁目の山口の抱え春日野を、さる貴公子と張合って、相手を廓に入れまいと閉めさせたのだそうですが、その紀文でも、その後、春日野の座敷へ行こうとして、入れなかったことがあるそうで……」

「それはまた、どういう訳なのです」

「その貴公子から春日野に贈られた夜具に、大きな声では申されませぬが葵の紋がうってあったということで……」

「徳川家の定紋が吉原の女郎の夜具にですか…」

「もし」

浪人は慌てゝ前後を見回した。

「徳川も末ですなア」

「いけませんよ。そんなことを大きな声で仰言ちゃァ」

「私は、元は幕臣でしてね」

「ほう」

「この頃、流行る、それ へ世の中は、左様でござる、ごもっとも何と御座るか、しかと存ぜぬ……それが出来ぬばっかりに、命を狙われるようなことになったので」

啓之助はそう云って冷たく笑った。



赤旗雨にもめげず

傘、傘、傘の波、歓声に合せて大きく、濡れた赤旗が揺れる—強い北風と、吹きつける雨の中に第廿六回中央メーデーはきょう一日高らかに歌声をあげた—"風雨強かるべし"前日からの予報通り早朝から土砂降りの雨と、十米を越える北の風に新緑の森がゆらめく神宮外苑絵画館前の中央メーデー会場には、風雨にめげぬ労働者の群が朝八時ごろから続々と集り傘と赤旗に埋って、戦後初のずぶ濡れメーデー風景をくりひろげた、雨のためか例年より出足が鈍く、日曜を狙った家族連れの参加はほとんど流れてプラカードの文句も昨年と違って「自由な生活」「平和憲法を護れ」「原爆戦争反対」「賃上げ」「重税反対」などと抽象的なものが目立った、ぬかるみに足をとられながら午前九時四十分開会「労働者の団結で自由と平和生活と権利を守れ」などのスローガンを謳い、メーデー宣言などを行い、平穏裡に十時半過ぎ大会は終り、五コースに分れての雨中のデモ行進が始まった





外苑を埋む傘の波
五コースに分れ ズブぬれ泥んこ行進

○…「首切り反対」「原爆反対」などのいつも見られるプラカード団、いずれも運転手さんたちで、それぞれ線香を立て「葬れ搾取階級」「弔戦争論者」などの葬式用の花輪を掲げて気勢を挙げていた

○…雨にもめげず子供連れの労働者もチラホラ見え、背中に赤い風船を持たせてあやしながら泥の海の会場を力強く踏んで行く母親の姿が人目をひいた

色が落ちた赤い頸巻

○…官公労の女子職員が晴れ姿にと首に巻いた赤いネッカチーフだったが、憎や雨で色が落ち、首筋を赤く染め泣きだしそうな姿もあったが、雨で腐っている一群をよそに国鉄保線区の組合はこの日ばかりは俺らの天国と黒の現場作業服で元気一杯で労働歌を高唱していた

○…六大学野球も五月晴なら応援歌のこだまする神宮球場だが雨でリーグ戦は中止、スポーツファンにサイダー、アイスクリーム、あんぱんなどを売っている露店のおっさん、おばさんたちは球場の屋根の下に臨機応変の店を列べて



【上右】赤旗、プラカードを先頭にずぶ濡れデモ行進【上左】愛児を背に泥んこはねとばして参加した勇しき女性【下】葬式花輪を持ち出した異色のMタクシー労組

…の中にひときわ目立ったのは坊さん姿のMタクシー会社の仮装の一

なかなかの警昌

○…廿六回メーデーと大書した下に地球儀と平和の旗をあしらった中央式台を中心に立てた赤旗は雨でぐっしょり黒く濡れ、ポスターカラーが濡れて流れ、文字もわからぬものもあったが、濡れないように新聞紙に包み後生大事に抱えこんでいる姿もいつもと違ったメーデー風景

勇敢なハダシの女性

○…"行進が解散したら二人で映画でも"と約束でもしたのであろうか、短靴、ハイヒールのアベック、くるぶしまでズブリ入る泥の会場に入りかね、遠くで済ませようと横着した組も中にはあったが、勇敢な女性が多く、ハイヒールを脱ぎ、ハダシでスカートの裾に泥をはね返しながら会場へ進んでいった

○…ひときわ目をひいたのは揃いのエンジ・ネッカチーフと胸に大きな白バラをつけたスマートな富士銀行労組約二百名の姿、しかしそれもやがて泥だらけ

○…賞金三万円のメーデー写真コンクールは、腕自慢のカメラファンが銀杏の木によじ登ってパチパチと撮影、中には木からすべり落ちて泥まみれ"とんだメーデー"

隅田川では水上デモ

…だ"とボヤくマニアもあった

○…実行委は参加廿五万(昨年の半数)と発表したが、警視庁調べでは約九万、いずれにしろ雨にたたられたメーデーではあった

水上メーデーの会場、東京港竹芝桟橋には、この朝日ごろから雨の中を機帆船、カッターなどで全海員、全造船の組合員二百名が集結、十時から開会、終って満船飾の十一隻が横なぐりの雨の中を隅田川十一橋をさかのぼり、勇ましい水上デモを行った

振られた"ヤドロク"
夫婦喧嘩紙上録音 さながら漫才式

○…その紙上録音—「うちのヤドロクときたら昼は喧嘩に強く夜も元気なんだから全くやり切れない、それに朝職安に出掛けてもくわ……"今日はアプレだ"といって帰って来ては私をカラメ手でいじめる…」「ありャァお前ほんとにアプレたんだよ、そんなに怒るな」「うるさいわヨ、ヤドロク黙ってなさい、私はお前のために腰から下が痛くてしょうがないんだよ」「そんなことといったって俺ばっかりのせいじゃァねーや、お前だって」「ナニいってるんだヨ、このロクでなし」というた具合で係員もテンデ口を差し出すよちがない、結局きくえさんが、ノルマにたえかねて離婚を決意したのがもとでこの派手な夫婦喧嘩になった次第—そこで笠原を留置場に入れたら熱がさめるだろうと一晩同署にとめて幕

去る廿六日夜、江東区深川高橋三の九簡易旅館に泊っている職安人夫笠原稔(四二)は内妻の滝沢きくえさん(三六)と別れたくない…とダダをこね、果ては鋏、包丁など物騒なものを持って追いかけまわすさわぎに深川署が仲に入り笠原を強要未遂の疑いで逮捕した、そして夫婦を同署に呼び原因をきいたがさながら漫才式のやりとりであった、以下

ぬとい うが…

酔どれ、女候補にニジリ寄る
演説を聞き違えて

○…これは闘い終った区議選のコボレ—北区の某女候補、廿九日夜の最終追込み演説に赤羽駅前で「私は嘘はいいません、必ず幼稚園の設立、道路改修…必ずや必ずや…ぜひわたくしを女にして下さい」とブッたところ、四十歳ぐらい人夫風のホロ酔い男が「よし俺がお前を女にしてやる…」とモソ〜とにじり寄ったので聴衆者一同はドッと大笑いだった

担ぎ出したが御用
アル中男、駅積の酒に悪心

○…卅日午前二時ごろ国電目白駅の貨物ホームで荷物をゴソゴソいじくっている男を目白署パトロールが発見、しばらく様子をみているとキョロ〜、どうもあやしいので「ご用」と捕えかかると件の男は箱から壜を二本抜き出して小脇にかかえて一目散に走り出したが、それッーとばかり約三百米追いつめやっと捕えた、この男住所不定山本一朗(三八)でアルコール類の大ファン、いままでは人夫をやり酒代を稼いでいたが、このところアプレが多く酒にありつけないプラ〜目白駅にくるとブドー酒が駅から発送されるのを見てゴクリ喉がなりみんながゴールデン・ウィークなんて喜んでいるのだから俺もこの酒で人並に楽しみ祝いたいと、ブドー酒一箱(八十本)をかつぎ出したもの—調べ室で証拠品のブドー酒を前に出され「旦那、そんな罪な真似はしないで下さい、やっと運び出したのを一滴ものまずに…」とボヤいていた

投票を焼却
分村問題で混乱 新潟

【新潟発】新潟県西蒲原郡潟東村(旧四ツ合、大原両村が合併)では隣接の巻町との合併を希望する旧大原村今井、大曽根甲、同乙、国見の四部落について住民投票を行い分村の賛否を決めることになり、卅日午前八時から午後三時まで大曽根小学校で投票を行ったところ、分村派住民約五十名が投票用紙配付疑義があるとして騒ぎ出し投票所内は混乱におちいった、そのため青柳選管委員長は「投票中止」を宣告、その後また「投票は続行する」と再宣言をした、分村派住民はふたたびいきりたち青柳委員長は立会人と協議、この間カギのない投票箱が置放しにされるという状態となった、その後投票箱を封印することにしたところ分村派に阻止され再協議の結果、無効と認めることにし分村派に通告した、ところが分村派は焼却せよと迫ったため青柳委員長はついに全部を焼却した

北洋船団第一陣
勇躍函館を出発

【函館発】再開四度目を迎えた北洋サケ、マス船団の第一陣が一日基地函館から勇躍出港した、この日西浜第二埠頭は関係会社、家族、一般市民約一万名で埋まり正午数十発の打揚げ花火を合図に明晴、協宝、喜山(以上日魯)日安(宝幸水産)照玉(北海道漁業公社)の五船団、独航船百廿隻が港内を圧する歓呼と五色のテープの波に送られ出発した

◇お断り 「緑の風に誘われて」は都合により本日休載いたします

東京競馬三日目成績(雨馬場不良)

◇第一ア四歳以上(千八百)❶タケフジ(能名)2分5秒2❷テッペキ三馬身½❸ユウラップ四馬身(単)130円(複)110円160円(連)❷—❹340円

◇第二サ四20万(千八百)❶ホウジヨウ(野平祐)1分59秒2❷ナスノツキ鼻❸タケミツ(単)270円(複)120円110円(連)❹—❻560円

◇第三サ障(二千百)❶グロープタカヨシ(宇賀神)2分32秒1❷インデイアンオー首❸カネノボル2馬身½(単)490円(複)330円250円(連)❹—❺3780円(重)❷—❹—❺4300円

独眼灯

○…ことしのメーデーの人気者? は吉田さんに代って鳩山さんとなりプラカードやらハリコの鳩が登場した

○…中でも東交小滝橋労組委員が作った大きな"ハリコの鳩山さん"が体中に「住宅四十万戸の公約」(署楽)失業対策の公約」をはりつけたのが人目をひいた

○…足が不自由なはずの鳩山さんが堂々と街の中をデモったり、足許がみえずにつまずいたりすると、ホンモノそっくりだと爆笑を呼んでいた【写真はデモる"署楽鳩山さん"】



出足そがれた『白い羽根』
街かど…文字通りの無人スタンド



【八重洲口の白い羽根募金風景】

○…例年のことながらきょう五月一日から一ヵ月間全国一斉に白い羽根赤十字資金募集運動が始まった、目標額は六億九千三百六十五万円で都の目標は六千万円、あいにくの雨に出足をそがれたかたちだが、それでも朝十時ごろには国電の駅前には募金箱が並び始めた

○…数寄屋橋、新橋、池袋、渋谷、浅草などの盛り場都内十ヵ所に設けた無人スタンドは人出を反映して文字通りの"無人スタンド"だが、まずまず好調なのは東京駅など行楽客の始発駅、ボストンバッグを下げたお嬢さんたちが恋人や友だちを待つ間にチャリンと十円玉を入れる、「胸にさした白い羽根がテルテル坊主のようだ」といったら募金の女学生もボストンバッグのお嬢さんもコロコロと笑いころげた【写真は東京駅】

轢殺して逃走

卅日夜十一時卅分ごろ渋谷区幡ヶ谷本町一の一二先で道路を横断中の同区幡ヶ谷中町一四五二塗装業脇木喜八さん(三七)はタクシーにはねとばされ近くの病院に収容されたが頭部強打で間もなく死亡した、タクシーはそのまま逃走したので代々木署で捜査している

観光バスわが世の春
予約は二ヵ月前から
稼ぎまくる朝昼晩 ウグイス嬢もかれ声

風薫る五月と月が変ってゴールデン・ウィークはいよいよ佳境に入った、きょう一日は勤労者の祭典メーデー、白い羽根募金開始などと多彩な行事を繰りひろげられたが、あいにくの雨で出足はさっぱり、だがその中でも二ヵ月前から予約で一ぱいという観光バスだけは昼夜兼行で走り回り、ウグイス嬢もガラガラ声になるという始末、そこでゴールデン・ウィーク真最中の観光バスの横顔をのぞいてみよう



【写真は雨にぬれて東京見物の修学旅行生=皇居前にて】

○…現在都内の観光バスは四十五社、約五百七十台(東京都乗合自動車協会調べ)だが、まず二ヵ月前から予約しておかなければ全く乗れない、ちょっと算盤をはじいて見ると四十台所有の中堅会社でも一台都内回遊が一日一万三千円平均、これが箱根、日光、成田辺りになれば三万五千円(運転手ガイド宿泊、食事代は別に客側負担)とはね上るから都内七、都外三と見積るとこの一週間にざっと七百卅万円余の水揚げとなる、だからどの社の幹部も「はたで見るほどもうかりません」とはいってもいう口の先から笑顔が止まらぬのも無理はない

○…このシーズン利用のお客さんは小、中、高の修学旅行組が六割、残りは一般団体となっているが修学旅行は別として一般団体は圧倒的に"積立金旅行"組が多い、都内見物は農業協同組合、酒類販売商組合などの堅実な団体が殆んどで人数も百廿—卅人位が普通、昼は史蹟名所をかけめぐり、夜は歌舞伎、国際劇場、東京温泉などをゆっくりみるというのが最近の傾向である、このほか近県から都内に乗入れるのが日に約百台ある、一方都外へ車を連ねる会社の慰安旅行組、昨年までは会社の補助金半分積立金半分といった割合で日光、箱根、湯河原などへ出かけたものが、今年は不景気で会社の補助金が減ったせいか日帰りの行楽が増え、それも汐干狩など獲物のあるものが人気を呼んでいるというからセチ辛い

○…ところで、ゴールデン・ウィークの到来に悲鳴をあげているのが運転手さんにガイド嬢、予約、予約でスケジュールは朝、昼、夜と三回にわけて客をこなしているが、客は変れど主は変らずで文字通り日に夜をついで大奮闘、シーズンオフには車の七割は車庫入りという業態であってみれば"一車一車掌運転手主義"だから冗員のいようわけはなく、全く刀折れ矢尽きるまで働きまくるといった仕組、しかも夜の十一時ごろ車庫入りしてから運転手は車の外部、車掌は内部を掃除しなければならないのである

○…さらに、悩みのタネは、この時季は都外に出る場合も多く配車が手一パイなので全然行ったことのない地方のガイドも「ぶっつけ本番」でやらされること、だからバス・ガイドコンクールで優勝したような八頭身のウグイス嬢などが、この一週間だけでバテ込んで使いものにならなくなるなンて珍しくないそうナ、某短大を卒業したK観光のホープのA子さん(三三)は「私たちの平均寿命は二年といゝますが、このシーズンに神経をすりへらしてしまう場合が多いんです、好きだから勤まりますが高校を出て結婚資金稼ぎだけが目的という方は途中で脱落します、私は平常は一万円前後のサラリーでこのシーズンには手取り二万五千円ぐらいになりますが、もう欲も得もなく休みたいワ」というぶんかすれた声で述懐している

恋人を慕って服毒二重奏
病院で会いたさに

一日午前十一時ごろ豊島区堀之内三六会社員小名坂正己さん(三三)は自宅でブロバリンを飲み苦しんでいるのを母親はまさんが発見、池袋病院に収容したが重体、調べによると昨朝小名坂さんの恋人斎藤容子さん(三三)=品川区大崎本町六四三=がこの朝ブロバリン自殺を図り未遂で池袋病院に収容されており自殺を図れば病院で彼女にあえると思ってやったらしい

クズ鉄ボンベでガス中毒

【大阪発】卅日午後一時廿分ごろ大阪市住吉区村上町一七クズ鉄商キヨタニ商店=店主清谷昌永氏(三三)=のクズ鉄処理場で、ボンベから異様な臭気の黄色い煙が吹き出し、同店店員や近所の人など卅五名ガス中毒にかかった

賊と格闘、頭に重傷
気丈な運転手に二人組逃走

一日午前一時四十分ごろ豊島区池袋一の五〇一先陸橋上で板橋区常盤台三の一九大和タクシー運転手野口保治さん(四七)は同区四の四八〇付近から乗せたいずれも廿四、五歳茶色ジャンパーを着た二人連れに停車を命ぜられ、拳銃様のもので脅かされたがひるまず格闘となったが、二人組は野口さんの頭に全治一週間の傷を負わせ逃走したと池袋署に届出た

運転手くずれ捕る
横浜に自動車強盗

【横浜発】一日午前一時ごろ横浜市港北区枝町三二四〇日野タクシー運転手小杉佐次郎さん(四五)は、同市中区曙町四付近から卅歳ぐらいの男を乗せ磯子区岡村町二三五付近にさしかかると、男は停車を命じ「金はない」と居直り、やにわに小杉さんの顔を殴りつけ押し倒した、小杉さんが助けを求めたので通行人数名が協力して取りおさえ磯子署に突き出した

男は同市磯子区岡村仲町一八二横浜生花会社運転手土屋義雄(三八)で、小杉さんは顔、腕などに全治一週間の傷を負った

殴って腕時計強奪
板橋でタカリ捕う

一日午前一時卅分ごろ板橋区板橋三の五〇三先で同番地工員木下久さん(三三)は屋台のそば屋でそばを食べていたところ、一緒にいた若い二人連れにいきなり殴られ腕時計一個を奪われたと板橋署に届出た、同署で間もなく付近に隠れていた住所不定加藤正(三三)中村某の二人を逮捕したが、酔っぱらっていたずらをしたと自供している

質屋に二人組
板橋 騒がれ逃走

一日午前一時卅分ごろ板橋区下赤塚六六〇質屋石井房雄さん(三三)方勝手口からいずれも廿三、四歳、作業服覆面をした二人組が侵入玄関三畳の間に寝ていた母ハナさん(七〇)に出刃包丁をつきつけ「金を出せ」と脅したが隣室に寝ていた房雄さんが気付き戸外に飛び出し騒いだため二人組は何もとらずに逃走したと志村署に届出た

150



続 情炎の千代田城 (104)

岩崎栄　寺本忠雄 画

◆あらすじ◆ 六代将軍家宣から世継ぎを 得ようと千代田城大奥の確執はますますひどくなつた。江戸派絵島を中心にして右近の方、片方は御台所京都派の左京の方である。絵島らは新井白石と通じ、京都派は勘定奉行荻原秀重と気脈を通じている。▽一方話かわつて荻原秀重の邸の水牢に閉じ込められた関吟亭木人先生と荻原家の腰元お梨花は木人の機知によつて無事脱出し新井白石の邸にかくまわれた。白石の知にはこの頃召抱えられた剣豪中司郷之助という男が居て、木人はこれを一目で敵の間者と見破つた。そこで八百定侍の息子千代太郎に斬れと、意を含めて郷之助と試合をさせるが、木刀では相討ち、いよいよ真剣勝負となつて両者は白刃を間にパツと左右に分れた。

金（十三）

千代太郎の足が、爪先きで砂を噛むようにジリ、ジリ、ッと寄りかけた。すると、郷之助が、ツウーッ、ツ、ウッ と、二度に二間ばかり もうしろへ 飛び退がった。

千代太郎の体が、ツンのめりそうになって立ち止まった。押して行った気迫を、サッとかわされた気持だった。

郷之助は飛び退がると同時に、脇差しで天を突くように、まっすぐに大上段の構えをとっている。

これはどういうことなのか―庭で見ている家来たちは、首を傾けたり、そっと肘で、隣りの男の横腹を突いてみたり、突かれたのも「はて?」といったように首を振ったりなどしている。

人々は、郷之助のとっている構えを、誰も見たことが無いのだ。あれがどう変化するのか―どう出て行くものか―想像も出来ずにいるのだ。

ところで千代太郎だが、これがまた俄に、中段の構えから、刀をサッと下ろして右斜めにした。切ッ尖は地面に向いている。

ホウ! といったどよめきが、見物人の間に動いた。これも妙な合点のいかぬ構え方である。まっこう大上段から、走りかかって割りつける刀は、中段にジッと構えていて、瞬間、機に応じて変化しなければならぬのだ。

子供が草の中の蜂の巣をでも叩こうとするみたいな構え方では、どう変化し、応対しようにも、あッという間に頭を割られるか、肩を斬られるか、千に一つも勝ち目などある筈がないのだ。

奇抜な構え同志が相対峙して、それっきりでいつまでも凍りついたように動かない。

人々は心臓の動きが休止し、胃の腑が石のようになって来た。

シンシンと、太陽の音が降っている。二人はみじん動きもせぬ。たゞ、二人の眼だけが、火箭のような鋭いものを交わし合っている。

白石は脇息のブチを、両手で砕けるほどに掴みしめている。お静は合掌して千代太郎を見たり、郷之助に視線を送ったりしている。

お辰は眼をつむり、口をへの字に食いしばって、両手を八百定のうしろから帯につかまって、大八車のあと押しみたいな格好をしている。

「フーッ」

と木人が吐息をもらした。金邸内が、無人の空屋敷のように、しんかんと冴え沈ンでいた。雀だか頬白だか、チイチク、チイチクと囀いている。その囀き声が江戸中に響くほどの鋭さに、人々の心肝をつきさしてくる。

「ヤ、アーッー」

だしぬけに、天地を引き裂くような叫び声だった。

パッと小禽が飛び散った。流星のように郷之助が、白刃の稲妻を引いて飛びかゝった。まるで弾丸だった。

みんながそれぞれに突き殺されたように眼を見張った。郷之助が悪鬼の形相でぶッつかって来た。しかし、千代太郎は石のように立っていた。

二人の間にキラキラッと閃くものがあって、せつなにパッと、千代太郎が砂に這い伏さった。同時に、座敷でも庭でも「アッ」という声が弾じけた。

這い伏さった千代太郎は、片手構えに、顔だけを下から相手に向けている。その横でまた、棒のように立ちつくしていた郷之助の体が、ヨロヨロッと傾いて、バッタリと仆れてしまった。



往年の名作を揃え『活動写真大会』開催

むかしなつかしいジンタ・メロディ時代を再現する活動写真大会が往年、その名調子で鳴らした一流弁士の解説で来る五月卅一日から一週間、池袋人世坐で開催されることになった

民間放送 ゴールデン・ウィーク

開局記念プロお流れ "聴取者調査"で低調?

普通の催しもの企画でお茶にごす

休日つゞきの五月とあっては勢い家庭でラジオにしがみつく時間も増えようというものだが、五月二週はラジオ東京の四周年記念、第三週はニッポン放送の創立記念、更には二週と三週が都内、地方における民放聴取者調査が行われるという賑やかさなのに、番組の方は予期に反してとんと低調に終始しそうな模様である

聴取者調査とあればスポンサーのつき具合にすぐひゞくことだけに各局ともちょうど開局記念を幸いに豪華な特集プロを用意したりしたが、結局平素なみのものでなければ調査の意味がないという声が強くなって、それでは…とそれぞれ異色を狙う線に切換えられたようだ、これがこの低調の大きな原因とみられている訳だが、まずその第一戦はきょう五月一日のメーデー報道戦、これにはラジオ東京が「素人歌合戦」に〝組合対抗版〟として各職場のノド自慢組〟を登場させ、いかにも労働者の祭典にふさわしい雰囲気を盛上げてあっさり軍配をさらった形勢である

さて次の焦点は五日の「子供の日」だが、この日は後楽園のプロ野球巨人―大洋戦の実況中継を、KRが小学生にやらせようというのがちょいと異彩を放っているだけ、目下この豆アナを募集、審査しているが「危い芸当をやるものだ、一体どうすることやら」と一部ではさゝやいているようだ、また「お富さん」などの流行歌追放運動に乗り出して注目をあつめているMデパートが、スポンサーになって「ホームソング紅白歌合戦」を公開録音する、これに対してニッポン放送では五日は子供の日に関した三元街頭録音でお茶をにごす予定、文化放送も対抗上何かやろうかと各部に企画をたてさせたが結局〝金なくて何のオノレが…〟のたとえ通り半ば根めしげに無手勝流でゆくことになった

こんな具合で第二週からがKR、NCB、LF、電通の四社共同でやる聴取者調査に入るわけだが、一週目にいくらキバってても第二週からの調査率にはそうひゞくものではあるまいというのが一致した見方で、お互いに聴取者を獲得するための見えすいた手はうたないとはいっているが、折からの開局四周年記念に当ったKRの動きにはかなり神経質になっているようで、果して何が飛び出すかという肚の探り合いだけはなかなか活発なようである



中年女のお色気

ダニエル・ダリュウの貫録

○…先だって大作「赤と黒」では愛欲になやむ二人子持ちの人妻を演じて、中年女のお色気を切ないほどに表現してみせたダニエル・ダリュウ、往年は可憐な娘役一本ヤリで人気は圧倒的でしたが、演技ときたら柄だけで押しているダイコンというのが専らの評判でした、それが戦後は「ルイ・ブラス」あたりからこれまでにない味を見せはじめ「赤と黒」では実に見事な貫録を示したわけです

○…その昔「ウイ（イエス）」というときの心もち尖らせた口許などは無類の愛らしさがあったものですが、卅七歳のいまでは、さすが素顔には相当小ジワが目立ちます、現在はスペインはマドリッド近在のロケ地で、先般「マンボ」をイタリアで撮ったロバート・ロッスン演出になるスペクタクルもの「アレクサンダー大王」に出演中、彼女の役は大王の生母でマケドニアの女王です、この写真は撮影余暇の散歩に、マドリッドの街の小鳥屋の店さきで、よく馴れたセキセイ・インコと遊んでいるスナップ

【写真はキーストン特約】

映画やぶにらみ

楊貴妃（大映）

▽…台所働きの女中から玄宗皇帝（森雅之）の妃になった一世の美女楊貴妃（京マチ子）が皇帝のためにその花の生涯を終える悲恋物語、陶秦、川口松太郎、依田義賢、成沢昌茂の合作脚本で溝口健二、カメラ杉山公平、大映カラー作品

▽…シンデレラもどきの出世物語だが、今度の場合は玄宗の妃になるわけで、彼女はそれを出世の糸づるにして一族もまた権勢の座にありつく、思いあがった彼等の悪政が国民の怨嗟を招き安禄山（山村聡）の乱をひきおこす、こういった歴史的背景のもとで玄宗と楊貴妃の間に美しい恋が日に日に育くまれてゆく姿を甘い感傷をもって描きあげる、通り一ぺんにやれば少々歯の浮きかねない話になりそうだが、いまはもう老いさらばえて皇帝の座を追われた玄宗の回想形式をとりながら、溝口演出一流の幽幻味を盛りあげる、いわばその幻想的な雰囲気がこの作品のミソで森雅之が老いた皇帝をなかなか好演している

▽…貴妃と玄宗が祭りの夜、巷をしのび姿で散策するシーンや、反乱の群衆シーンにもうひといきの劇的な感動が欠けているのが惜しまれるが、総体に色彩も重厚な味で見応えある作品にはなっている（静）



【写真はその一場面、森と京】

青少年の善導に

「青少年映画委員会」近く発足

映倫では「青少年映画委員会」設置の準備を進めていたが委員の人選を終えたので、五月五日のこどもの日発足を目標にその具体化を急ぐことになった、同委員会は映倫をはじめ映画製作、配給、興行の各界代表及び青少年問題関係者学識経験者等をメンバーとして不健全な内容の映画による青少年の不良化を防止するとともに、良い映画は進んでこれを推せん映画による善導をはかることを目的とするもの

当初その仕事は映倫審査の際青少年に悪影響を及ぼすとみられる映画を指定する一方、是非とも青少年にみせたいと思われるものを推せんするという「指定」「推せん」の二方法をとるものとなっていたが、その後さらに検討の結果成人向映画の指導も行うことになった

安西郷子負傷

新東宝の安西郷子は廿八日、第二撮影所で階段から足を踏みはずして転倒、頭と脚を打ち二、三日療養する

五月のスミダ劇場

スミダ劇場五月のスケジュールは総てが日本舞踊の会、一日（藤間則市郎）二日（若柳東佑）三日（花柳壽二郎）四日（若柳吉房次）五日（花柳和佳）六日（坂東勝友女）八日（坂東勝富貴）九日（花柳楽美葉）十一日（坂東三代充）十三日（花柳壽々之助）十四日（岩井紫若）十五日（坂東三蝶治）十七日（花柳壽雄）十八日（坂東勝壽郎）廿日（藤間金志郎）廿一日（花柳志壽利）廿二日（坂東三榮之）廿五日（西川扇繼）廿六日（花柳壽太郎）廿七日（柏木翠扇）廿八日（藤間千枝）廿九日（藤間伊勢晗）卅日（林元枝）

おしゃべり横丁

メーデー

今年はほんとのメーデーだよ

―ひつじ



かたばみ座の五月興行

劇場の明渡し問題で長らく紛争をつづけていた東京浅草スミダ劇場のかたばみ座も興行続行と決り、二日初日でフタを開ける

▽長谷川伸作『瞼の母』番場忠太郎（新車）水熊のおはま（鶴蔵）▽『奥州安達ケ原』袖萩祭文の場）鶴次直方（篤三郎）袖萩（鶴蔵）八幡太郎（新車）▽『紺屋高尾綱読与話』（仲の町より明店まで）久蔵（竹若）高尾（小主水）竹庵（新車）

都々逸

今月の選者は石井きんざ氏（写真）が擔当いたします

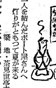


石井きんざ選

住居で可愛い児も出来た
力合わせてようやく出来た
高崎・河野彦三郎

お前ばかりに苦労をかけて
済まぬなんぞと水くさい
横濱・築比地香雄

禁酒禁煙あたしと添える
迄はきつとするそうな
武蔵野・米島住郎



二人を結んだボート屋さんへ
灯りがともつて夏が来る
築地・茶見世亭主

男らしくもない紫陽花一つ
いつて淋しい影に立つ
長岡・鈴木六可仙

◇

娘騙つた都会は燃りた
赤いネオンの灯が恐い
選者

はと笛

▽…新内の異端者と自他ともに許している岡本文彌、いまだに何だかだといわれながらも大張切りでガンバッているが、去る廿九日夜、本牧亭の文彌会では新作「阿部お定」を発表したのでみんながギョッ

▽…なにしろ若い時から「西部戦線異状あり」なんていう反戦新内?を作ったりで異端者扱いもいまさらおかしいが、さてはお富さんに対抗してお定さんで大いに世間を騒がせる魂胆だろうと仲間連中ガヤガヤいっている



【写真は岡本文彌】

その日そのとき ①

江利チエミ



淋しくってイヤだナァ

渡米前のステージでクタクタ

だが息ぬきのつもりで

【とき】降りみ降らずみ、梅雨もどきのうっとうしい雨が、丸ノ内界隈の鋪道をしっとりと湿らせている晩春の午下り、腹一ぱいのみこんだ日劇の大観衆の興奮もようやくおさまった一回目のショウ「チエミ海を渡る」幕が下りた休憩時間

【ところ】無気味に静まった楽屋地下二階、黒い名札に白く書かれた「江利チエミ」という名前がうす暗い廊下の電気にほんのりと浮び出している。コンコンとノックすると「どうぞ」彼女独得のハリのある低目の声が元気に答える、六畳ぐらいの個室、座布団を二つ並べた急造のベッド? にガウンを掛けて彼女は休養中だ「疲れちゃって…」思いなしか円らな瞳にも舞台でみるあの溌らつさがない、傍で兄者人とおツキの女の子が二人心配そうにみつめている

（再） 渡米の話から はじまる「十一日頃発つの、お父さんと一緒に飛行機で…六、七週間になっちゃうわネ、きっと…目的って別にないのよ、いろんなものをみたり有名な人に会って来たい、それから、出来たら向うの有名なバンドで歌ってみたい、会いたいのはトニー・カーティス、ウったのよ、日本のファンの人たちに忘れられちゃうことや、どっち向いても知らない人ばっかりの外国がとっても淋しくてイヤなんだけど、一ヵ月ぐらいなら日本にいて地方巡業にいってるんだけど、会ってることと思うとそう違わないで手筈は進めて貰ってるんだけど、会えるかどうかわかんないわ」

彼女自身は気が進まないのだが、吉本興業に対する義理立てとか何とかいう噂があるのだが、これは彼女らしくキッパリと否定する「家を買うのに借りたお金に縛られてなンて全然ウソ、吉本の社長さんてそんな人じゃない、息抜きに行って来たらどうだっていわれたのが実現しちゃったもの」

（出） 演中の「チエミ海を渡る」は彼女の歓送ショウ、さらばとハリ切って一回十曲を歌うので平日で卅曲、モノ日で四十曲という計算になる、だからタフな彼女が「疲れちゃったァ」と悲鳴をあげるのも無理からぬ話、まして夜は夜で留守中のラジオの録音を毎晩三本四本ととっている有様だ「この千秋楽（二日）でステージの仕事は終りよ」と嬉しそうだ、最後に帰国後、扇雀と日劇で共演する話をもち出すと「本当なら嬉しいけど、まだどうなるかわかんないんじゃない」とそれでも相好を崩していた